

高岡商工会議所地域経済動向調査

(令和8年度 第1四半期・令和8年4月～令和8年6月)

◆売上高 DI は改善も、先行きは慎重な見方

全産業の売上高 DI は改善したものの低水準が続き、特に製造業で落ち込みが顕著。売上高の来期見通しは、増加見込みがやや上昇した一方、減少見込みも増加している。先行きについて、改善への期待が一部にみられるものの、依然として慎重な見方が残っている。

◆採算性は厳しさ増す、資金繰りは持ち直し

採算性は建設業・小売業では改善したものの、全体は悪化した。物価高や人件費上昇が影響しているほか、人手不足も引き続き深刻である。資金繰りはやや改善傾向にある。

◆業種別課題の顕在化と支援の重要性

建設業・製造業では原材料・材料価格の上昇が引き続き大きな課題となっている。卸売業では需要停滞、小売業・サービス業では経費・人件費の増加やニーズ変化への対応が上位となっており、業種ごとの課題に応じた価格転嫁、需要開拓、人材確保支援が求められる。

・売上高の対前年同期比について、全産業の売上高 DI は－7.7 ポイントと、前回調査（－21.2 ポイント）から 13.5 ポイント改善した。

・業種別では、サービス業（31.3 ポイント）で大幅な改善が見られた一方、製造業（－15.9 ポイント）は依然として低水準にあり、特に食品・繊維・紙・他の業種（－53.3 ポイント）では需要の弱さがうかがえる。

・来期の売上高の見通し（対前年同期比）では、「増加」と見込む企業が 22.5%、「減少」と見込む企業が 40.3%となっている。前回調査と比べて増加見込みはやや上昇した一方、減少見込みも増加しており、先行きについては改善への期待がみられるものの、慎重な見方も残っている。

・採算性においても全産業の採算性 DI は－26.9 ポイントと、前回 DI（－25.7 ポイント）から 1.2 ポイント悪化した。業種別にみると小売業で改善がみられる一方、建設業・製造業・卸売業・サービス業では落ち込んだ。原材料価格や人件費の上昇が利益を圧迫している可能性が高い。

・資金繰りの DI は－9.5 ポイントとなり、前回（－12.7 ポイント）から改善した。

・今期の従業員水準に関して、全業種の DI は－14.8 ポイントであり、引き続き従業員不足の状況が続いている。特に建設業（－43.8 ポイント）、小売業（－30.0 ポイント）では深刻であり、人手不足が業務運営や売上拡大の制約要因となっている。

・直面している経営上の問題では、建設業や製造業で「材料価格の上昇」「原材料価格の上昇」が上位に挙げられた。一方、卸売業では「需要の停滞」、小売業・サービス業では「人件費以外の経費の増加」「人件費の増加」やニーズ変化への対応が上位となっており、コスト上昇と需要確保への対応が経営課題となっている。

・今回の景況調査では、建設業・製造業における材料・原材料価格の上昇や、卸売業の需要停滞、小売業・サービス業のコスト増加が経営を圧迫していることが明らかとなった。商工会議所では、販路拡大や価格転嫁、人材確保に向けた取組を進めるとともに、個別の経営課題に応じた支援を行い、地域企業の安定経営と地域経済の活性化に取り組む。

高岡商工会議所地域経済動向調査

(令和8年度 第1四半期・令和8年4月～令和8年6月)

調査月 令和8年4月～令和8年6月 (基準日6月1日)

対 象 高岡市内事業所 330社

回答数 131社 (回収率 39.7%)

回答業種内訳及び構成比

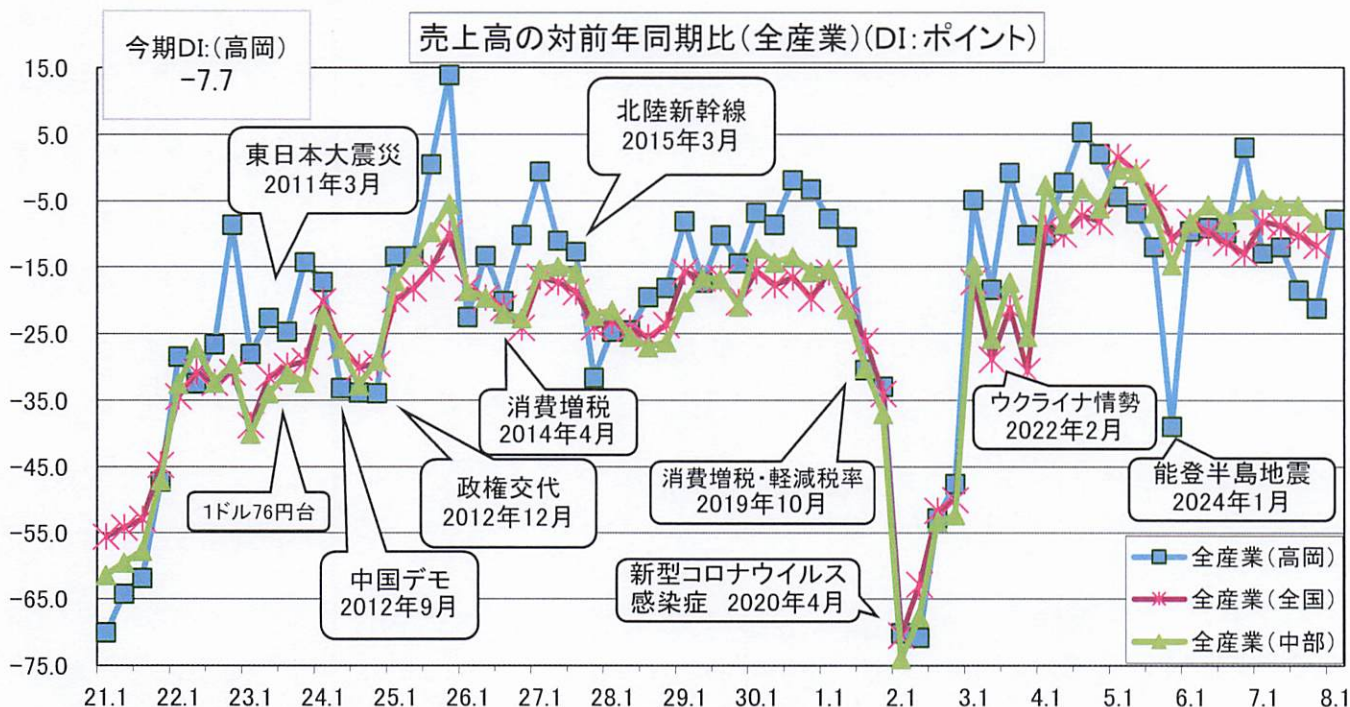
	建設	製造	卸売	小売	サービス	全体
回答数	16社	69社	19社	11社	16社	131社
%	12.2%	52.7%	14.5%	8.4%	12.2%	100.0%

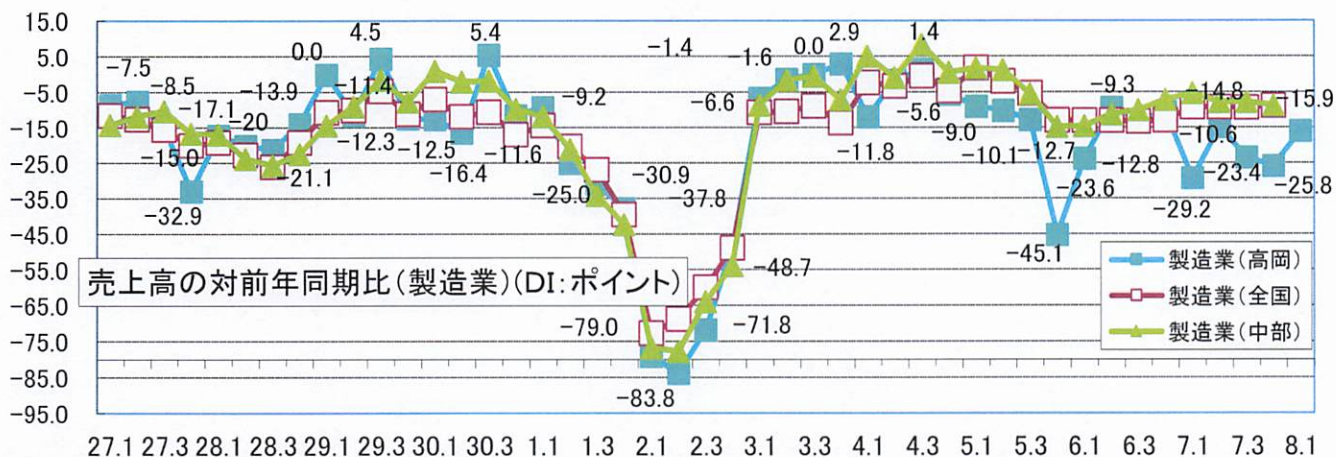
■ 1. 売上高の対前年同期比

(%) (ポイント)

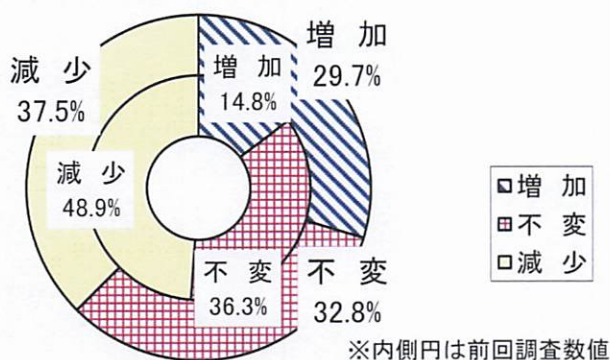
※全国、中部DIは前回調査分

		増 加	不 変	減 少	DI	前回DI	変 化	全国DI
業	建設業	18.8	56.3	25.0	-6.3	-20.0	13.8	-11.2
	総合・土木	10.0	60.0	30.0	-20.0	-75.0	55.0	-
	建築・職別工事	33.3	50.0	16.7	16.7	42.9	-26.2	-
	製造業	29.0	26.1	44.9	-15.9	-25.8	9.9	-8.8
	銅器・漆器	21.4	35.7	42.9	-21.4	-42.9	21.5	-
	アルミ・機械・化学・電気	36.8	23.7	39.5	-2.6	-10.8	8.2	-
	食品・繊維・紙・他	13.3	20.0	66.7	-53.3	-50.0	-3.3	-
種	卸売業	26.3	31.6	36.8	-10.5	-25.0	14.5	-9.8
	銅器・漆器	0.0	25.0	75.0	-75.0	-75.0	0.0	-
	その他	35.7	35.7	28.6	7.1	-15.8	22.9	-
	小売業	27.3	36.4	36.4	-9.1	-38.5	29.4	-21.0
	食品・衣料・雑貨	33.3	0.0	66.7	-33.3	-80.0	46.7	-
	電化製品・文化品・他	25.0	50.0	25.0	0.0	-12.5	12.5	-
	サービス業	43.8	43.8	12.5	31.3	10.0	21.3	-7.7
	全産業	29.2	33.8	36.9	-7.7	-21.2	13.5	-11.7

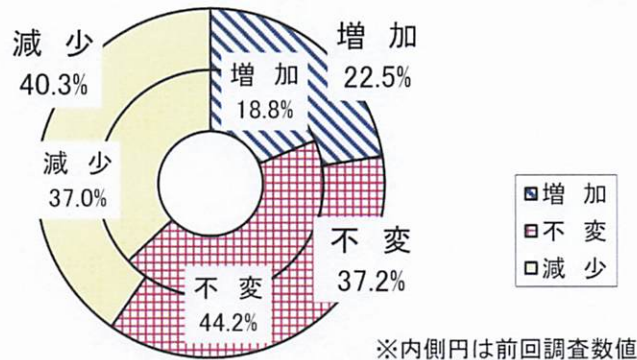




2-1. 売上高の対前期比



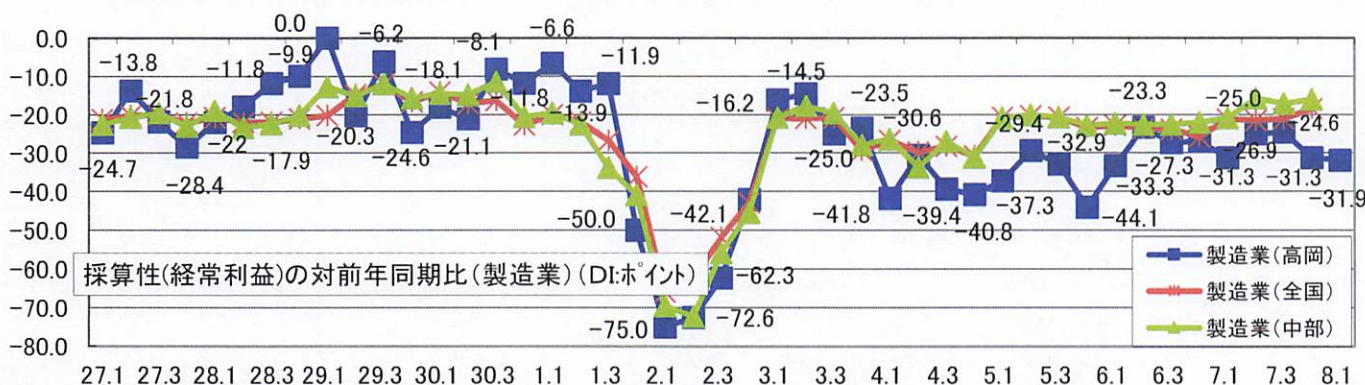
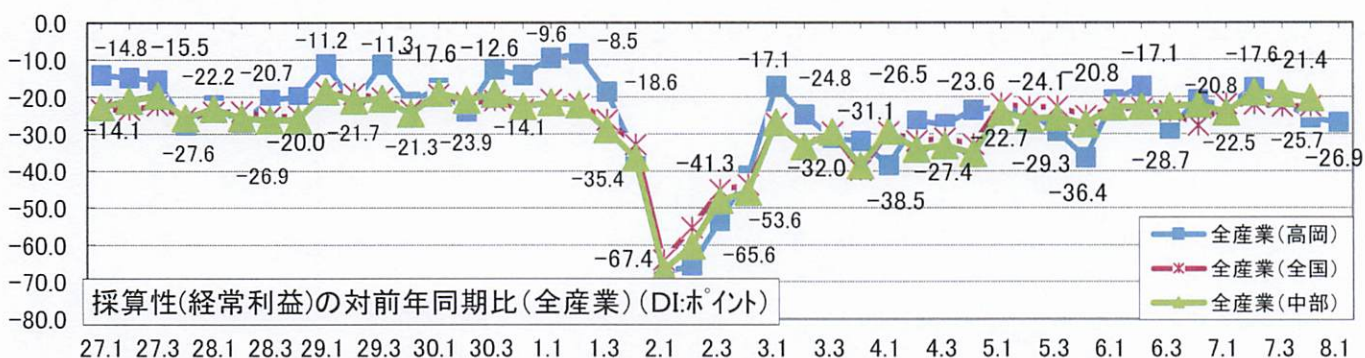
2-2. 売上高の来期見通し(対前年同期比)



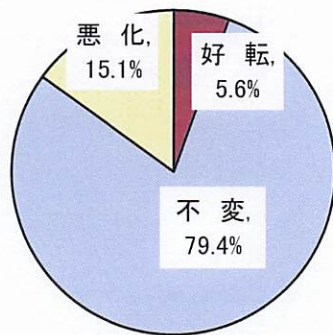
3. 採算性(経常利益)の対前年同期比(%) (ポイント)

※全国DIは前回調査分

		好転	不変	悪化	DI	前回DI	変化	全国DI
業種	建設業	18.8	50.0	31.3	-12.5	-26.7	14.2	-20.2
	製造業	15.9	36.2	47.8	-31.9	-31.3	-0.6	-18.5
	卸売業	15.8	31.6	52.6	-36.8	-29.2	-7.6	-17.4
	小売業	9.1	45.5	45.5	-36.4	-46.2	9.8	-29.3
	サービス業	13.3	73.3	13.3	0.0	10.0	-10.0	-22.6
	全産業	15.4	42.3	42.3	-26.9	-25.7	-1.2	-22.5



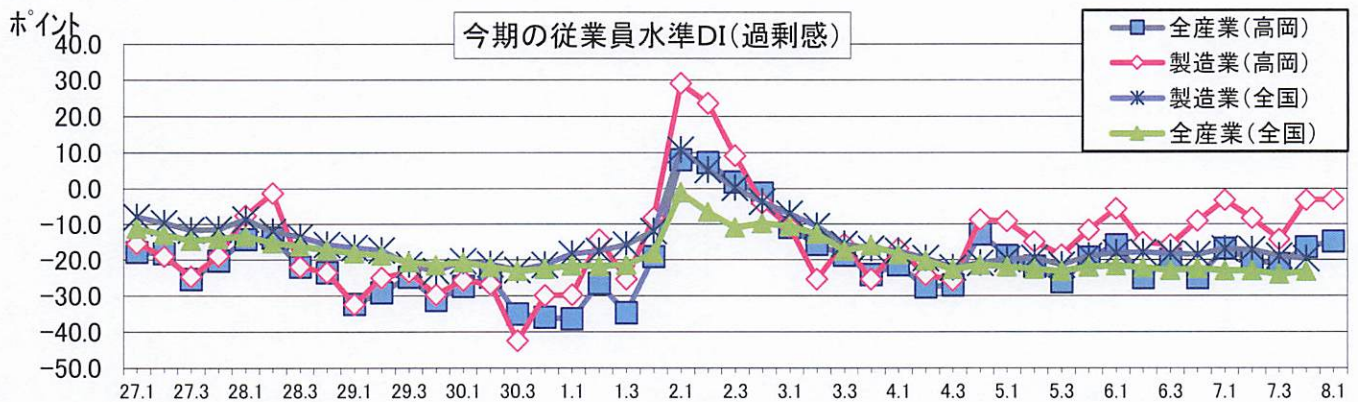
■4.資金繰り(前年同期比)



資金繰り(前年同期比)の推移

	好転	悪化	DI
8.1	5.6%	15.1%	-9.5
7.4	4.5%	17.2%	-12.7
7.3	3.3%	13.0%	-9.8
7.2	4.1%	19.5%	-15.4
7.1	8.2%	11.9%	-3.7
6.4	4.0%	17.6%	-13.6
6.3	6.4%	14.2%	-7.8
6.2	2.9%	11.6%	-8.7
6.1	4.9%	11.8%	-6.9

■5.今期の従業員水準(今期の過剰感)



従業員水準(過剰感)の推移

(ポイント)

	R6.2	R6.3	R6.4	R7.1	R7.2	R7.3	R7.4	R8.1
建設業	-64.3	-70.0	-75.0	-70.6	-61.5	-64.3	-46.7	-43.8
製造業	-15.1	-15.8	-9.1	-3.2	-8.3	-14.3	-3.2	-3.0
卸売業	-22.7	-13.0	-27.3	-8.0	-15.0	0.0	-12.5	-10.5
小売業	-23.1	0.0	-36.4	-23.1	-18.2	-25.0	-33.3	-30.0
サービス業	-38.9	-31.6	-41.2	-21.1	-36.8	-37.5	-30.0	-31.3
全産業	-25.0	-19.9	-25.0	-16.8	-20.3	-21.1	-16.4	-14.8

※数字が小さいほど不足感が強い

■6. 直面している経営上の問題(各業種の回答上位)

複数回答

建設業	①材料価格の上昇	30.2%
	②材料の入手難	18.6%
	③従業員の確保難	14.0%
製造業	①原材料価格の上昇	22.2%
	②需要の停滞	15.1%
	③人件費の増加	11.9%
卸売業	①需要の停滞	20.4%
	②仕入単価の上昇	18.4%
	③人件費以外の経費の増加	10.2%
小売業	①人件費以外の経費の増加	18.2%
	②消費者ニーズの変化への対応	12.1%
	②人件費の増加	12.1%
サービス業	①人件費の増加	20.0%
	②利用者ニーズの変化への対応	15.6%
	②材料等仕入単価の上昇	15.6%